

立命館大学サービラーニングセンター（SLC）で “学生コーディネーター”の活動に挑戦しませんか？

地域や学内で活躍する“学生コーディネーター”とは？

学生コーディネーターは、立命館大学サービラーニングセンターで、学生同士が主体的に学び合い、支え合う「ピアサポーター」として学生と地域をつなぐ活動を行っています。具体的には、ミッション＆ポリシーに基づいて、学生によるボランティアや地域社会に貢献する活動を促進・支援するために、ボランティアや地域活動に関する相談対応、活動に関する情報の収集や発信、地域と学生が出会うきっかけとなるプログラムの企画などを行っています。



学生コーディネーターとしての活動を通して

以下のような姿勢や素養を身につけることを目指します

【Facilitation】

サービラーニング科目でのESや、ボランティアコーディネーターとして正課内外で学生の地域活動や学びを促す

【Coordination】

活動フィールドとなる地域や団体、学生と、共感を軸にした関係性を築き、学生と地域を対等につなぐ

【Citizenship】

地域社会や社会課題に目を向けて、社会の担い手の一員としてのマインドを持ち、自ら行動を起こすことができる

サービラーニングセンターの主な取り組み

ボランティア相談への対応と環境整備

・地域のボランティア活動などの情報を集め、学生への提供を行います。ボランティアに参加したい学生に向けて、関心のある分野、活動地域、期間などから、自分に合ったボランティア活動を見つけるのを、学生コーディネーターや職員がサポートします。

課外サービラーニングプログラムの実施

・ボランティア初心者向けのプログラムや、災害復興支援活動、宿泊型で地域課題について学ぶ活動など、実際に地域の中で行うプログラムのほか、学内外のボランティアや地域貢献活動団体が集まるガイダンスなどを行っています。

サービラーニング科目（教養C群）の開講

・主にNPO・NGOや地域の市民団体、行政機関と共働して、身近な社会の課題や問題を地域の人々と一緒に考え、汗を流し、解決していくことを通じてシチズンシップを学ぶ科目を開講しています。

課外サービラーニングプログラムの例

【地域での活動】

- *大船渡盛町七夕まつりサポートプロジェクト
- *祇園祭菊水鉾ボランティア
- *循環型農業体験プログラム
- *ボラする(ボランティア体験プログラム)
- *高島ワークキャンプ

【学内での活動】

- *あつまれ！課外活動の森
- *BKC ウェルカムフェスティバルへの出展など

サービラーニング科目一覧

- *地域参加学習入門
- *現代社会とボランティア
- *現代社会のフィールドワーク
- *シチズンシップ・スタディーズ

※入学年度や学部によって、受講できる科目が異なります

※科目詳細は右のQRコードから確認ください



サービラーニング科目の
↑ 紹介はこちらから ↑

2024 年度春学期サービスラーニングセンター学生コーディネーター募集要項

◆活動内容

学生コーディネーターは、教職員らとともに、立命館大学サービスラーニングセンター（SLC）が掲げるミッション＆ポリシーの実現に向けて、立命館大学に在籍する学生たちのボランティアや地域貢献活動を促進・支援するため、学生と地域をつなぐ活動を行います。具体的には、以下のような取り組みを行います。それぞれが関連しあうため、各取り組みとの連動を図る役割も期待されます。



●ボランティア相談への対応と環境の整備

- ・地域、NPO・NGOやボランティア団体の情報収集や開拓、ニーズの受け止め、関係性の構築
- ・学生から寄せられるボランティアや地域活動に関する相談対応
- ・学生に向けてのボランティアや地域活動についての啓発・促進・情報発信



●課外サービスラーニングプログラムの企画運営

- ・学生に地域参加の機会を提供するサービスラーニングプログラムの企画・運営
- ・学生団体の情報収集、学生団体の活動サポート、活動創出支援
- ・サービスラーニングセンター主催企画の運営

●サービスラーニング科目(教養 C 群)の運営補助

- ・サービスラーニング科目の受講生の地域での活動や、教室での学びの促進・支援（ES(教育サポーターとして授業の運営補助を行うアルバイトスタッフ)など）
- ・科目の活動報告会などの発表機会における運営協力



◆活動条件

- ・活動キャンパスは所属キャンパスとなります。
- ・採用後の新メンバー対象研修/始業式、および年度末の 3 キャンパス合同研修は参加必須とします。
- ・学生コーディネーターの活動は原則として無給です。ただし、以下の費用については補助を行います。
 - ▶プログラムの実施にかかる経費(消耗品費、団体との打ち合わせの際の交通費など)
 - ▶活動のスキルアップにかかる経費(SLC が指定する研修プログラムの受講費および交通費) 等



◆活動期間

- ・原則、採用されてから本学を卒業するまで
 - ▶半年ごとにふりかえりシートや面談を用いて活動へのふりかえりと継続の意思確認を行います
 - ▶本人と事務局の相談の上、活動の辞退や休止を決める場合や、活動状況によっては継続を認めない場合があります



◆応募資格:次の1～3のすべての条件を満たすこと

1. 立命館大学に在学中の学部生、院生であること。
2. 立命館大学サービスラーニングセンターのミッション＆ポリシーに賛同し、自分自身を含めた本学学生がボランティアや地域活動、社会貢献活動へと参加し、その経験から学びを深める「サービスラーニング」の発展に寄与する意思があること。
3. 以下の①もしくは②のいずれかの経験がある(または、現在している)こと。
 - ①ボランティアや地域貢献活動の経験(小～高校時代の経験、大学でのプログラムへの参加、ボランティア系サークルでの活動など)、②サービスラーニング科目(教養 C 群、詳細は下記参照)の受講
4. サービスラーニングセンターが実施する募集ガイダンスに参加していること。(開催日時等は ホームページ を参照)

◆**募集人数** 各キャンパス5名程度(キャンパスごとに募集)

◆**応募方法** 立命館大学サービ斯拉ーニングセンターHP より申込フォームから申し込みください。

◆**応募期間** 2024 年3月27 日(水)10:00 ～ 4 月 11 日(木)13:00 まで

◆**選考** 応募フォーム提出後、面接を実施します。応募フォームに記載された志望動機や、面接内容をもとに選考を行います。
選考は以下の観点をもとに評価します。

- ・SLC での活動への知識(サービ斯拉ーニングやボランティアコーディネーションの基本的な理解)
- ・SLC での活動への意欲(学生コーディネーターとして達成したいことや、なりたい姿、活動で生かしたい経験など)
- ・自分の意見や想いを伝えられる、また、他者の声に向き合うことができるコミュニケーションスキル

◆**採否通知** 採否の通知は、4 月 24 日(水)17:00 までに manaba+R の個人宛へ送信する予定です。

応募から活動開始までの流れ

3/27(水)、 4/9(火) 昼休	《募集ガイダンス》(3 キャンパス合同 ZOOM 開催) 応募にあたって、ガイダンスへの参加は必須とします。ご参加ください。 ※各キャンパスで現役学生コーディネーターによる活動の体験談を聞けるイベントも開催する予定 です(任意参加)。各キャンパスの詳しい開催日程は SLC の HP にて確認ください。(キャンパスによ って、開催しない場合もある)
3/27(水)～ 4/11(木)	《応募受付》 ガイダンスを受け、募集要項をよく読んだ上で、HP より応募
～4/12(金)	《書類選考》 応募フォームの記載内容を確認した上で順次面接日程を通知 ※原則、面接に進める前提だが、記載内容から明らかに SLC や学生 Co としての活動につ いての理解ができていない場合はその旨を通知し、不可とする。(追加募集をする場合はそ こでの再提出も認める旨を伝える)
4/15(月)～ 4/19(金)	《面接》 2～3 名程度のグループ面接を実施。 ※応募人数によっては個人面接の可能性あり
4/24(水)	《採否発表》manaba+R にて決定通知を送付。
6/9(日)	午前:新メンバー向けオリエンテーション研修 午後:学生コーディネーター任命式・活動始業式
5 月中旬～	採用手続き完了次第、順次活動開始

※2024 年3月現在の予定です。感染症状況などによって変更となる可能性があります。

よくある質問

Q1. この活動はボランティアサークルですか？

A1. 答は「No」です。「学生コーディネーター」は、ボランティアサークルではなく、サービ斯拉ーニングセンターに所属して活動する「ピアサポーター」として、教職員と共働しながら、学生のボランティアへの理解や参加を促進し、ための取り組みを行っています。

Q2. 研修はどのようなことをするのでしょうか？

A2. 学生コーディネーターは、「ボランティアコーディネーター」として、同じ学生の視点から学生の活動を支援します。
そのために、ボランティアに関する正しい理解や、地域と学生をつなぐこと(ボランティアコーディネート)等に関する講義、
ワークショップを織り込んだ研修を受講していただきます。また、活動をふりかえる機会としてのリフレクションも行っています。

Q3. 私は、地域でのボランティア活動に参加しています。活動とコーディネーターの両立は可能でしょうか？

A3. 答は「Yes」です。学生コーディネーターは、ボランティア活動の啓発・推進を担う役割を期待されていることから、個人としてボランティアなどで関わっているテーマや地域(フィールド)を持つことが望まれます。したがって、ボランティア活動と学生コーディネーターとしての活動を両立させることは可能であるだけでなく、むしろ積極的に学内外のボランティアサークル、NPO、NGO等で活動し、その経験を発信することが期待されます。

学生コーディネーターからのメッセージ



衣笠キャンパス 法学部 3 回生 野田 遥希さん

「誰かをサポートしたい」「誰かのために何かしたい」という方は学生コーディネーターにもってこいです。なぜなら、学生が地域に出て学ぶことを促す・サポートすることが学生コーディネーターの大きなやりがいだからです。サービスラーニング科目での ES の経験は、まさにこのやりがいの宝庫でした。受講生が地域に積極的に関わる姿を見て、嬉しさと共に学生コーディネーターとしての活動意欲がみなぎりました。

また学生コーディネーターになれば、地域の方や教職員の方、他の学生コーディネーターなど普段の学生生活では出会わなかった人たちと出会うことができます。様々な人から刺激を受けながら、活動を通して成長できるのも学生コーディネーターのやりがいの 1 つです。

びわこ・くさつキャンパス 経済学部 3 回生 豊田晴菜さん

私は学生コーディネーターとしてボランティア活動やイベント企画に参加する中で、様々な問題意識を持つ方に出会いました。学生と団体をつなぐ立場なのに、まだ知らないことが多いと気付き、ボランティアコーディネーション力検定を受検しました。また、学生のボランティアに対するイメージやニーズを把握できていないことも問題だと感じ、学内でアンケート調査を行いました。

このように、私は問題意識を持って行動し、自分が成長する楽しさを学びました。この活動には、様々な成長の機会が与えられています。それを一緒に体験し、学生コーディネーターとしてみんなに広めていきましょう！



大阪いばらきキャンパス 政策科学部 3 回生 宮本沙綾さん

学生コーディネーターは、地域と学生をつなぐ架け橋のような存在です。

地域で活動に参加したり、自分で活動を始めたり、団体さんに話を伺ったり。こうした活動の中で、たくさんの視点や学び、そして仲間が得られます。私自身、コーディネーターの仲間に刺激を受け、地域やボランティアへの興味をもち、たくさんの人と出会う事ができました。

この春には、そんな活動や人とのことを、多くの学生に知ってもらいたいと企画を考えています。自分自身が、ボランティア活動などに、参加し、そして他の学生へと繋いでいけるのが学生コーディネーターだと思います。コーディネーターとして、一緒に地域に一步踏み出してみませんか？

立命館大学サービスラーニングセンター ミッション&ポリシー

ミッション（基本理念）

1. サービスラーニングの普及により、学生のシチズンシップ（ボランティアマインド等）を涵養する。
2. サービスラーニングに関わる調査、研究を行い、参加型学習プログラムを開発・運営する。
3. ボランティアなどの社会貢献・連携活動の情報を収集、編集、提供するとともに、相談、調整を行い、課外活動を支援する。
4. 社会貢献・連携活動に関わる地域・市民・団体・機関とのネットワークを構築する。
5. 学生と地域・市民・団体・機関との交流窓口として、両者に必要な活動や資源をコーディネートする。

ポリシー（行動原則）

1. 広い視野と見識を持つ地球市民を育成するために、変化する地域・社会や地域コミュニティのあり方に常に関心を向ける。
2. 正課・正課外の両方において学生の主体的な学びが尊重されるよう、個と集団の両方が成長する適切なプログラムが提供できているか絶えず見直す。
3. 参加型学習によって専門学習やキャリア・パスへの接続がもたらされるよう、サービスラーニングやボランティア活動の機会を拡充する。
4. 主体的な学びの成果を全学にフィードバックできるよう、現場の教育力の評価や学習環境の条件整備のための客観的な指標の確立につとめ、積極的に用いていく。
5. 地域・市民・団体・機関等と学生のニーズのすりあわせは、学生および地域・社会の双方の将来を展望した上で行う。

